

第6学年1組算数科授業 授業記録

R6.10.23

5校時(14:00~14:45)

仙台市立袋原小学校

6年1組教室

授業者:木村 壮 先生

記録:奥山

導入

1 前時までの学習を振り返る。

14:00

挨拶

T:先生の好きな食べ物は?

C:チョコ、メロン

いちご

お好み焼き 正解

T:今日は、お好み焼きについて皆さんに相談があります。

T:先生は何で悩んでいるか、力を貸してほしい。

→テレビ画面にイラスト

A店(ふつうなイラスト)

C:もう一店舗ある。

T:名前を伏せています。

B店(豪華なイラスト)

C:おお～

T:どちらがいいでしょう?→挙手 A・B・まだわからない

T:お店に行きたいとなったら何を調べる?

C:口コミ

T:修学旅行で調べていたよね

→テレビに口コミを表示

A店 3.5

C:20か～(評価した人数)

T:3.5って?

C:平均値。

T:みんなが3.5とつけたわけではない。

B店 3.6

C:でも人数が、・・・(18人)

2 問題場面と出会う。

14:03

T:今日の問題を書きます。(イラストも掲示)

どちらが人気店といえますか。改めて挙手→A多め。まだわからない、は少数。

T:なぜ、まだわからない?

C:人数が違うから

T:縄跳びは？

C:調べられた。

C:一人ひとりの評価を知りたい。

T:用意しました。→A店の評価をテレビ・黒板に。

1！？ 5もある。

T:B店も見せます。

C:データの幅が安定している。散らばりが狭い。

T:今まで学んだことを活かして、先生におすすめしてください。みんなの意見を聞いて、実際に行きます。

展開

3 学習課題を捉える。

14:07

T:めあてを書きます。

学んだことを活かして、どちらのお店が良いと思うか、先生におすすめしてください。

T:分析できそう？

これから班になります。その前に、ほしいものはありますか？

C:電卓→平均を出したい →もう出てるから大丈夫。

C:ドットプロットの線

C:ヒストグラム

C:度数分布表

T:用意してあります。

グループを作りましょう。

4 解決の見通しを持ち、自己解決する。

14:10

T:班で協力して分析しましょう。

何分あれば分析できそう？ 5分を目指そう。

T:質問がありました。渡したプリントには書き込んで大丈夫です。

14:22頃→概ね分析完了

14:30

T:一回止めます。現時点で自分がどちらか教えて下さい。Chromebookを出します。

ロイロノート

T:画面の用意が終わったら、テレビを見ましょう。

A店はピンク、B店は水色。判断するうえで重視した分析結果

ドットプロット、など、分析方法の名前だけ書きましょう。

14:34

T:テレビを見てください。圧倒的ピンク(A店) 3～4人水色(B店)。

C:おお～

T:理由を教えてください。

C:B店がいい。ドットプロットでみると、幅が小さいから、A店みたいに差があるよりはわかりやすい。

T:この考えどう？ →わかる。納得。

C:A店の中央値が高いから。A店。

C:A店。代表値6つのうち、A点は4つ勝っている。ヒストグラムも高い。

T:1班は違うこともやっていたね。

C:4. 5以上の割合。A店は30%、B店は約11%。

C:最初はドットプロットを見てBだと思った。最頻値を見ると、A店は1～2もある。表で見ると、Aの方が良いと思った。

T:A店、低い評価がある。すすめる？

C:でも、高いものもある。ドットプロットで見ると、最初に書き込んだ人が低い。

T:⑩の評価1は？

C:舌が合わなかったのか

T:B店はどんな店？

C:安定している、誰にでも合う。好みの味、庶民の味。

T:A店は？

C:好みが分かれる。

T:他にほしいデータはある？

C:コメントが気になる。

T:全部じゃないけど用意してあります。

テレビに示す。

1人目

C:味じゃないのか(開店当初の接客)

2人目(最近利用した客)

C:接客が変わったのか

3人目(昔と比べて良くなった)

C:さっきの1の人か！？

4人目(19番目の人→店員の顔が、嫌いな人に似ている)

C:偏見だ！

14:43

B店

1人目(18番目の人)

T:改めてどっち？ 挙手させる。 →A店多め。

T:縄跳びと違って、人の感じ方によって変わる。100%信じていい？ →というわけではない。

T:後でアンケートを取ります。それを受けて、お店を決めます。
挨拶